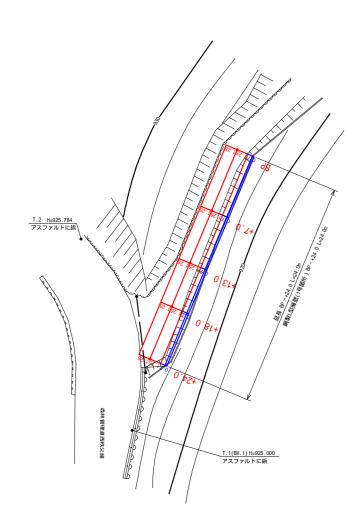
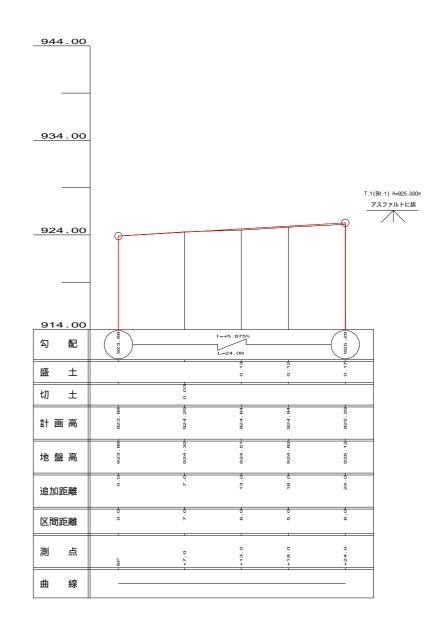
路線名	茅ノ坂1号線	事業名	県営林	作業道補修工	事
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20км/н
年 度	令和 7 年度	施工主体	ti	· 奇玉県農林公	社
名 称	平面 図・縦 断	図 (1号筐	所) 1	葉中 1	番
施行地	秩父郡小鹿里	丹町河原:	沢字茅	ノ坂地内	
縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)	審査者		設計者	

平面図・縦断図 S=1/200

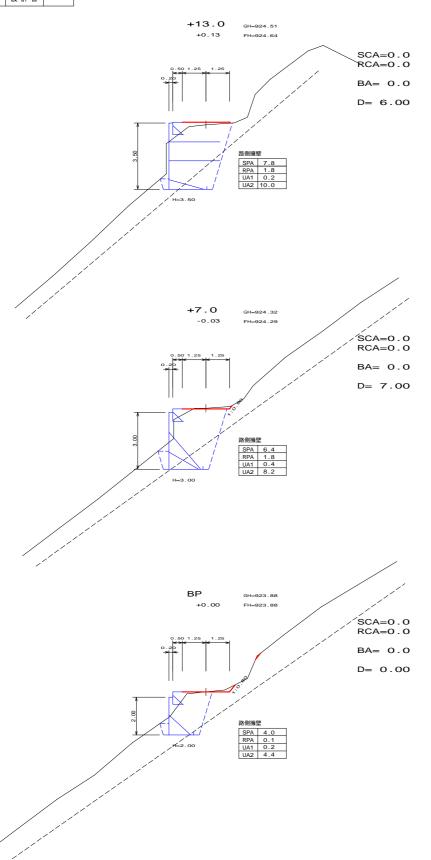




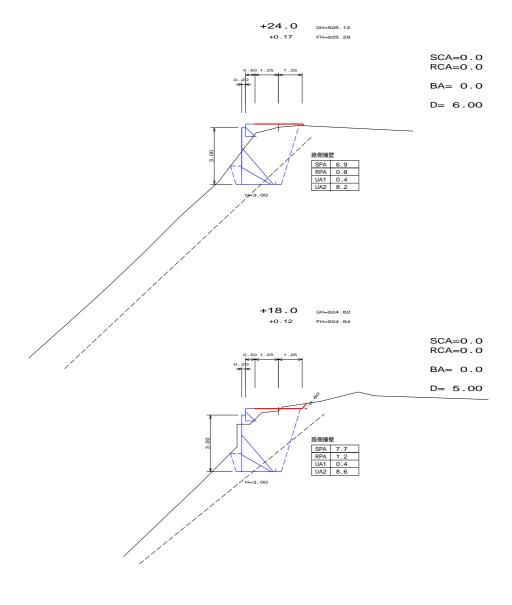


路線名	茅ノ坂 1 号線	事業名	県営林	作業道補修工	事
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20км/н
年 度	令和 7 年度	施工主体	掉	 	L 社
名 称	横断面図	(1号箇所)	1	葉中 1	番
施行地	秩父郡小鹿里	野町河原:	沢字茅	ノ坂地内	
縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)	審査者		設計者	





横断面図 S= 1 /100

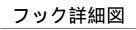


路線名 茅ノ坂1号線 事業名 県営林作業道補修工事			
林道区分 第 2 種自動車道 級別区分 3 級 設計速度 2 0 KM/H		鋼製L型擁壁工展開図	
年度 令和7年度 施工主体 埼玉県農林公社 名称展開図(1号箇所) 1 葉中 1番		(1号箇所)	
在 物 展 開 凶 (「写圖打」 「 集中 「 留 施 行 地			
缩 尺 1/50(A1) 審查者 設計者			
	*74.0	*130	8*/
	6.00	5.00	7.00
	۲	銅製 L 型摘壁 L=24.00m	———¥
		天端調整壁面材:L=24,00m	
天識側面板	925.29		*
	924.94	924.64	
		めっき品、マット付 924.29	
			923.88
89:	9 9		
, o			
			00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
922	12.10		921.60
	321.00		
	921.10		921.10
DL=920.00		₩ <u>女柱材</u>	
<u>UL9920.00</u>			
			100
	3.00 5.00	3.00 9.00	4.00
	H=3.0 H=3.0	H=3.5 H=3.0	H=2.0
	B=1.8 B=1.8	B=2.0 B=1.8	B=1.3 →
	標準断面図		
	标字断直凶 +13.0		
	. 2.50		設計祭件
	0.50 1.25 1.25		國土村の中部原理角 = 35 ° 國土村の平位件積重量 = 18.0kM/m²
	天端調整壁面材 0.40		戦荷廉(36荷廉) w = 10.064/m ² 八
	鋼製壁面材 のっき品、マット付		現点 +13.0 常 時 qnax = 112eN/n c qa=300eN/n c
	0		壁面材(1.0n)
	0-0		特 記 事 項 聖面材(0.5m) ・ (8+材料版(研書が行きなもの きた料版(研書が作者なども)となった。
			・ 重出的な(U.Om) ・ ・ 重要が関係している。または転圧作業ができるように改良する事を制度とする。 ・ 実際の展開に高されるもの。または転圧作業ができるように改良する事を制度とする。 ・ 実際の展開に高されるもの。
			場面の空間付(U.5m) 排水対策を施すこと。 ・実施に思いて土質試験等を行し、所定の土質定数や支持力を満足するか
	13.50m	水平排水材	→ 排水材 機能すること。 ・ 施工管理事業は以下の項目を目安とし、各種間の基準に促うものとする。
	1.0m以上	⟨0, 1 (8a/h,b)	
	, e		施工管理基準値
	Trans.		** - JIS A 1210のA, S法による最大乾燥密度の
			金土板の網度(産土材500㎡に間)・岩石関産土板の場合は、工上規定方式で管理するのでする。
DL=920.00	型前面の地山は残す B=2.00m 0 10		
	聖酬線		完成後の壁面勾配 - 所定の壁面勾配 = 0.03H(H;整高)

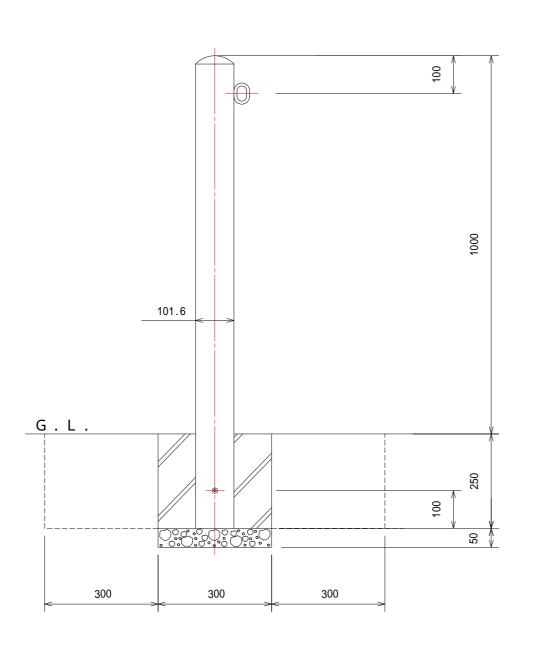
路線名	茅ノ坂 1 号線	事業名	県営林	作業道補修工	事
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	2 0 км/н
年 度	令和 7 年度	施工主体	ti	· 奇玉県農林公	社
名 称	詳細図(1	号箇所)	1	葉中 1	番
施行地	秩父郡小鹿里	野町河原:	沢字茅	ノ坂地内	
縮尺	図示	審査者		設計者	

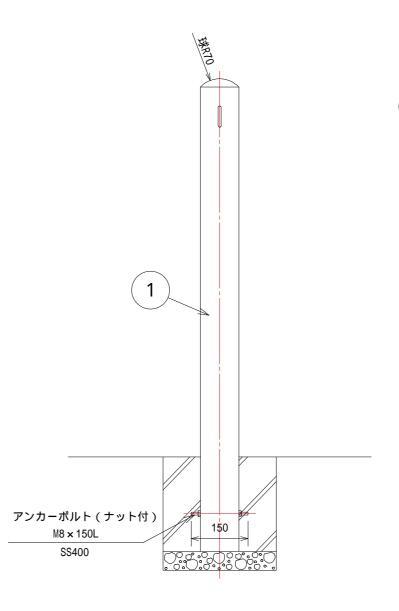
車止めピラー詳細図

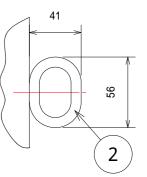
S = 1 / 1 0



S = 1 / 3





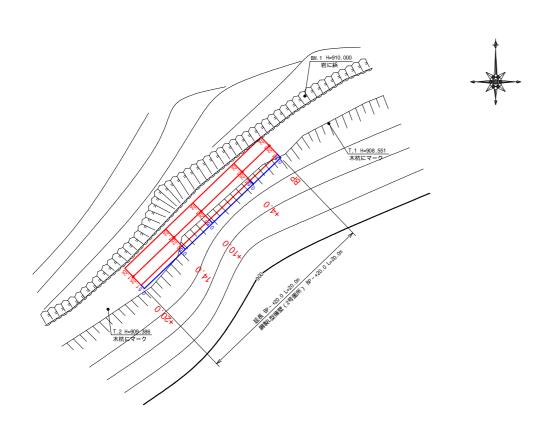


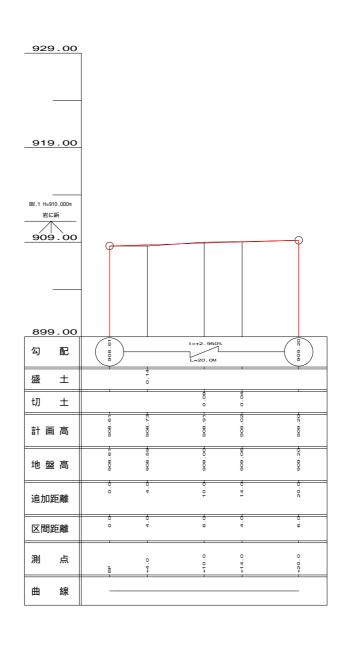
包	古番号	色	日塗工N o
	0 2 0	白(W)	日塗工 EN-95近似色
	0 1 0	黄(Y)	日塗工 E17-70X近似色
	0 3 0	茶(C)	日塗工 E19-20B近似色

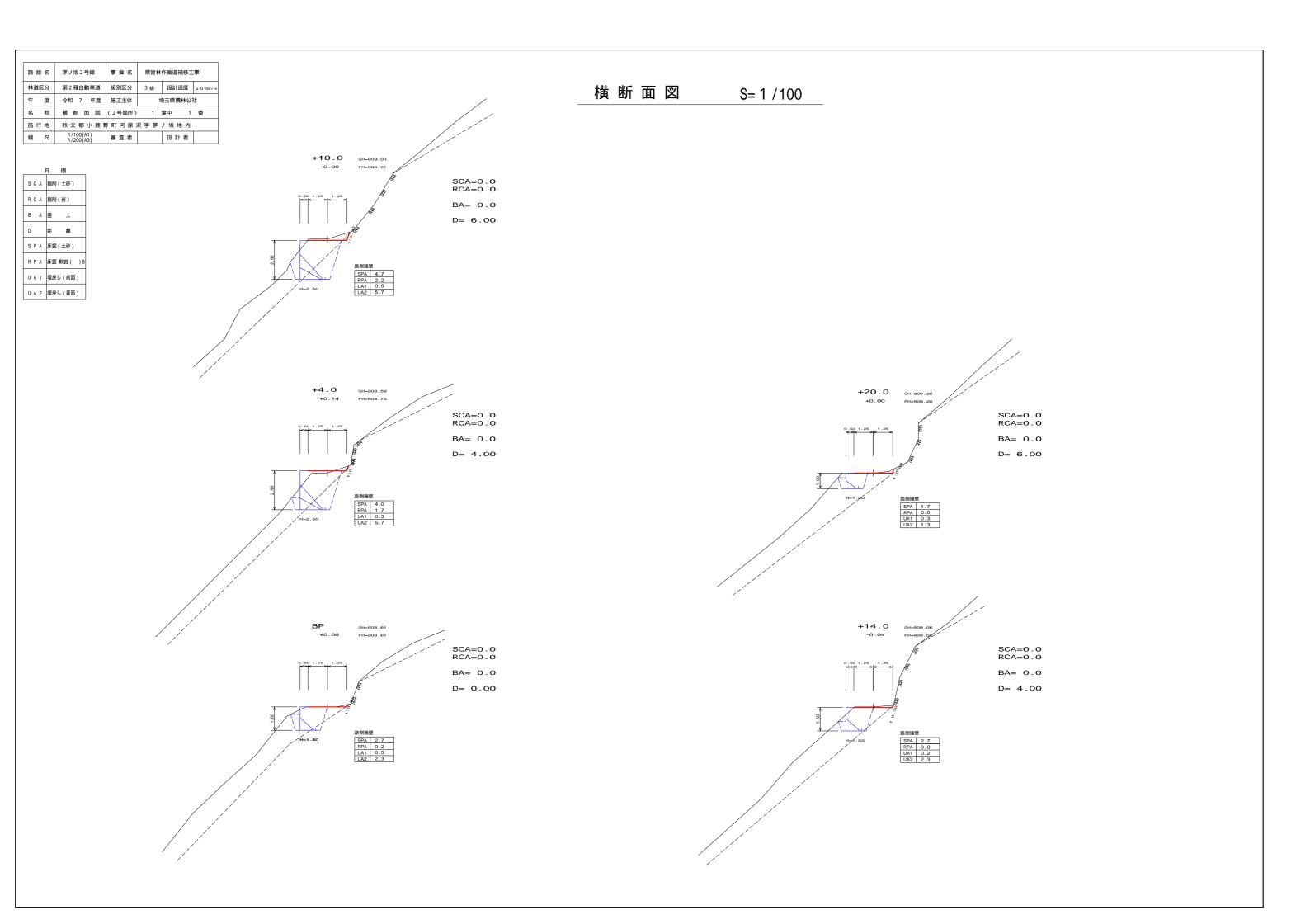
2	フック		1	スチール	S S 4 0 0	8	電気亜鉛メッキ後	
1	パイプ		1	鋼管	STK400	101.6×t	3 . 2 電気亜鉛メッキ後	、焼付塗装
番号	品	名	数量	材	質	1	備考	

路線名	茅ノ坂2号線 事業名		県営林作業道補修工事		.事
林道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20км/н
年 度	令和 7 年度	施工主体	ti	· 奇玉県農林公	社
名 称	平面 図・縦断	図(2号箇所	f) 1	葉中 1	番
施行地	秩父郡小鹿里	予町河原:	沢字茅	ノ坂地内	
縮尺	1/200(A1) 1/400(A3)	審査者		設計者	

平面図・縦断図 S=1/200



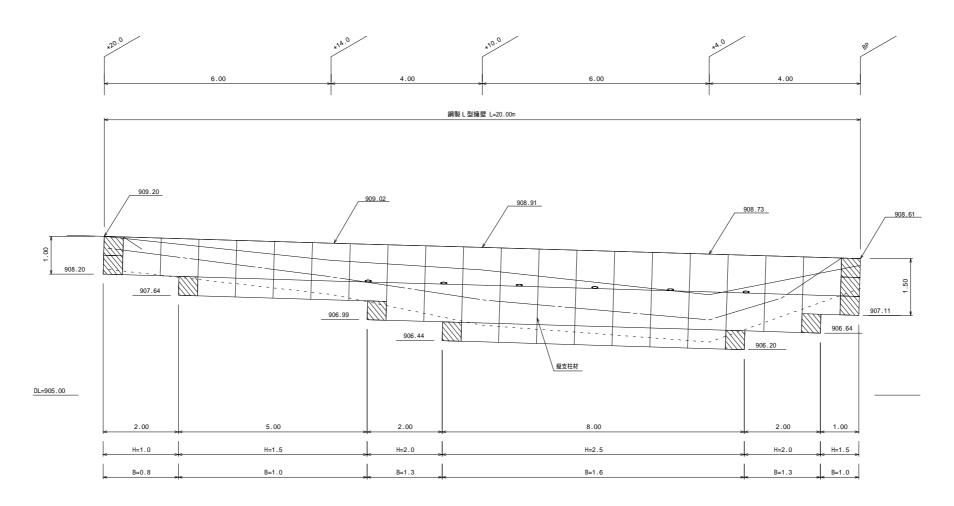


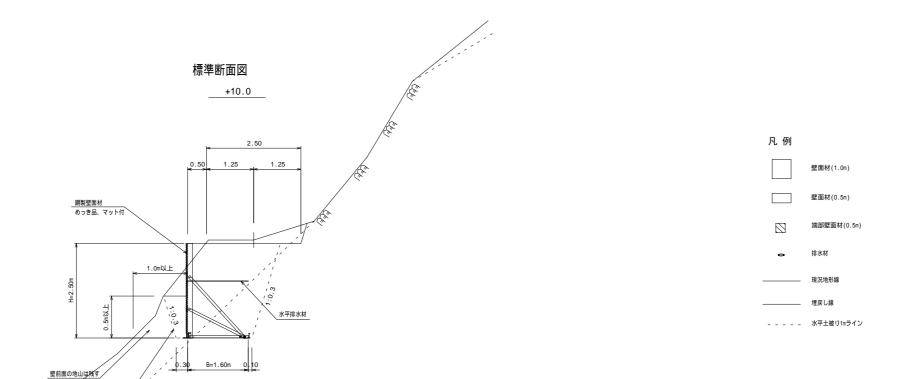


路	線名	茅ノ坂2号線	事業名	県営林	作業道補修工	事
林	道区分	第2種自動車道	級別区分	3 級	設計速度	20км/н
年	度	令和 7 年度	施工主体	拄	奇玉県農林公	社
名	称	展 開 図 (2	号箇所)	1	葉中 1	番
施	行 地	秩父郡小鹿里	予町河原	沢字茅	ノ坂地内	
縮	R	1/50(A1)	審查者		設計者	

鋼製L型擁壁工展開図

(2号箇所)





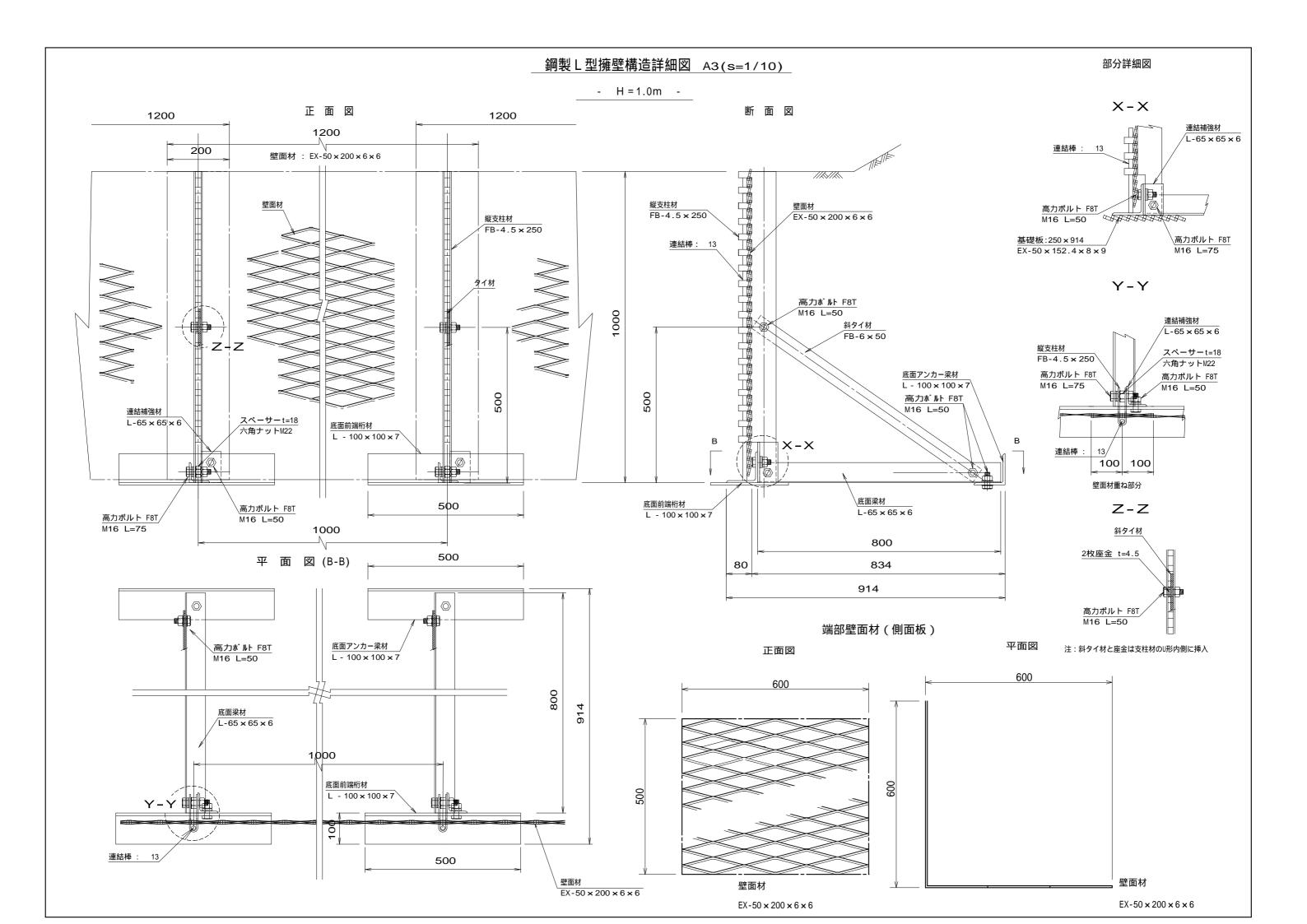
	設	ŧΗ	祭	件
盛土材の内部摩擦角				= 35 °
盛土材の単位体積重量				= 18.0kN/m ³
載荷重(活荷重)		П	1	v = 10.0kN/m²

最大地盤反力度				
測点 +10.0	常時	qmax = 85kN/m² < qa=300kN/m²		

特	話	事	項
・盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作 良する事を前提とする。	業が	できる	ように改
・背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に 排水対策を施すこと。	kが侵.	λしな	いような
・実施に際して土質試験等を行い、所定の土質 確認すること。	E数や	支持力	を満足するか
 施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各村とする。 	展開の	基準に	従うもの

	施工管理基準値
項目(頻度)	管理値又は許容値
盛士材の絵園度 (盛土材500㎡に1回)	- JIS A 1210のA B法による最大乾燥密度の 95以上、C.D.E法で90以上とする。 - 岩石製産士材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	・所定の壁圏勾配±0.03H(H;壁高)

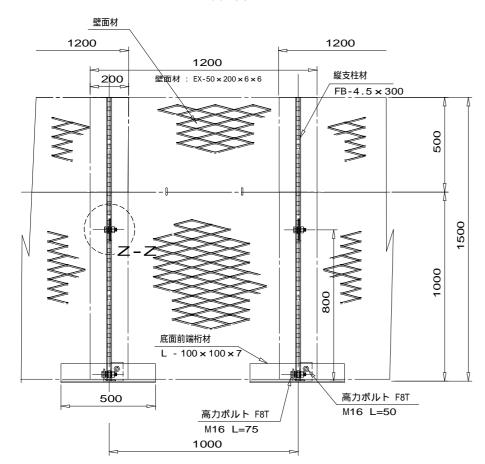
DL=905.00



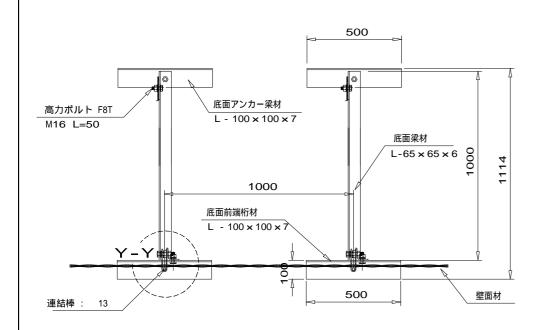
L X ウォール 構造詳細図 A3(s=1/20)

- H = 1.5m -

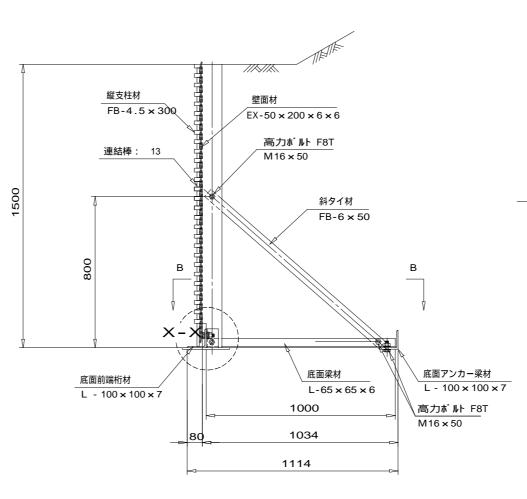
正面図



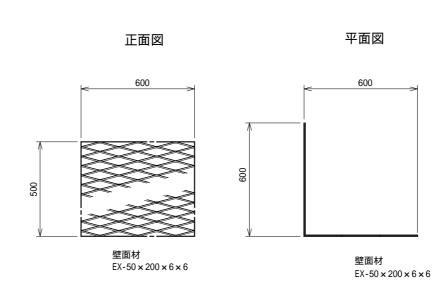
平 面 図 (B-B)



断 面 図

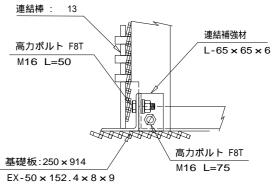


端部壁面材(側面板)

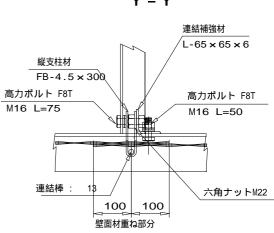


部分詳細図(S=1/10)

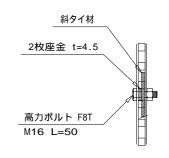




Y - Y



Z-Z

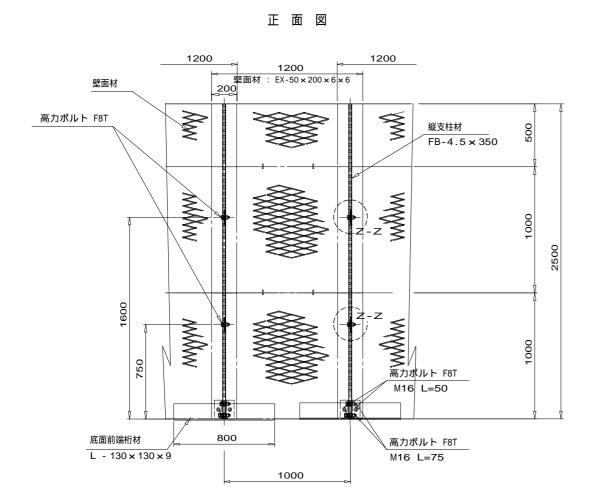


注:斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

鋼製L型擁壁構造詳細図 A3(s=1/20) - H = 2.0m -部分詳細図(S=1/10) 断 面 図 正面図 1200 1200 X-X 1200 縦支柱材 壁面材 : EX-50×200×6×6 200 連結棒: 13 FB-4.5 × 350 連結補強材 $\text{L-65} \times 65 \times 6$ 縦支柱材 FB-4.5 × 350 壁面材 EX-50 × 200 × 6 × 6 連結棒: 13 高力ボルト F8T 高力ボルト F8T M16 L=50 M16 L=75 高力ボルト F8T 基礎板:250×914 M16 L=50 EX-50 × 152.4 × 8 × 9 Y-Y Z-Z 斜タイ材 縦支柱材 連結補強材 FB-9 × 65 FB-4.5 × 350 L-65 × 65 × 6 高力ボルト F8T 高力ボルト F8T M16 L=75 M16 L=50 高力ボルト F8T 底面梁材 M16 L=50 L-65 × 65 × 6 連結棒: 13 スペーサーt=18 X-X100 100 六角ナットM22 壁面材重ね部分 底面アンカー梁材 高力ボルト F8T 高力ボルト F8T 800 底面前端桁材 L - 130 × 130 × 9 Z-ZM16 L=75 M16 L=50 L - 130 × 130 × 9 底面前端桁材 1300 L - 130 × 130 × 9 1000 斜タイ材 1346 平 面 図 (B-B) 1456 2枚座金 t=4.5 底面アンカー梁材 800 L - 130 × 130 × 9 端部壁面材(側面板) 高力ボルト F8T M16 L=50 高力ボルト F8T 平面図 正面図 M16 L=50 注:斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入 底面梁材 600 600 L-65 × 65 × 6 1000 底面前端桁材 L - 130 × 130 × 9 Y-Y 壁面材 壁面材 連結棒: 13/ 壁面材 $\mathsf{EX}\text{-}\mathsf{50} \times 200 \times 6 \times 6$ 800 EX-50 × 200 × 6 × 6

L X ウォール 構造詳細図 A3(s=1/30)

- H = 2.5m -



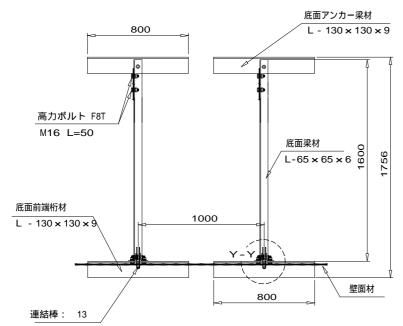
壁面材 縦支柱材 EX-50 × 200 × 6 × 6 FB-4.5 × 350 連結棒: 13 高力ボルト F8T M16 L=50 斜タイ材(2) FB-9 × 65 斜タイ材(1) FB-9 × 65 高力ボルト R8T M16 L=50 底面前端桁材 底面梁材 底面アンカー梁材 L - 130 × 130 × 9 $L-65 \times 65 \times 6$ L - 130 × 130 × 9 1600 1646 1756

断面図

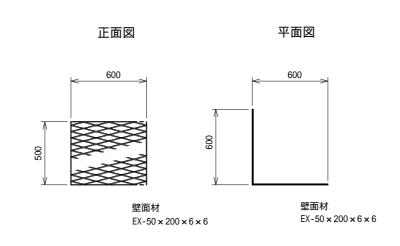
X-X連結補強材 L-65 × 65 × 6 連結棒: 13 高力ボルト F8T 高力ボルト F8T M16 L=50 M16 L=75 基礎板:250×914 $EX-50 \times 152.4 \times 8 \times 9$ Y - Y縦支柱材 FB-4.5 × 350 連結補強材 L-65 × 65 × 6 高力ボルト F8T 高力ボルト F8T M16 L=50 M16 L=75 ∖スペーサーt=18 連結棒: 13 六角ナットM22 100 100 壁面材重ね部分 Z-Z斜タイ材 2枚座金 t=4.5 高力ボルト F8T

部分詳細図(S=1/10)

平 面 図 (B-B)



端部壁面材(側面板)

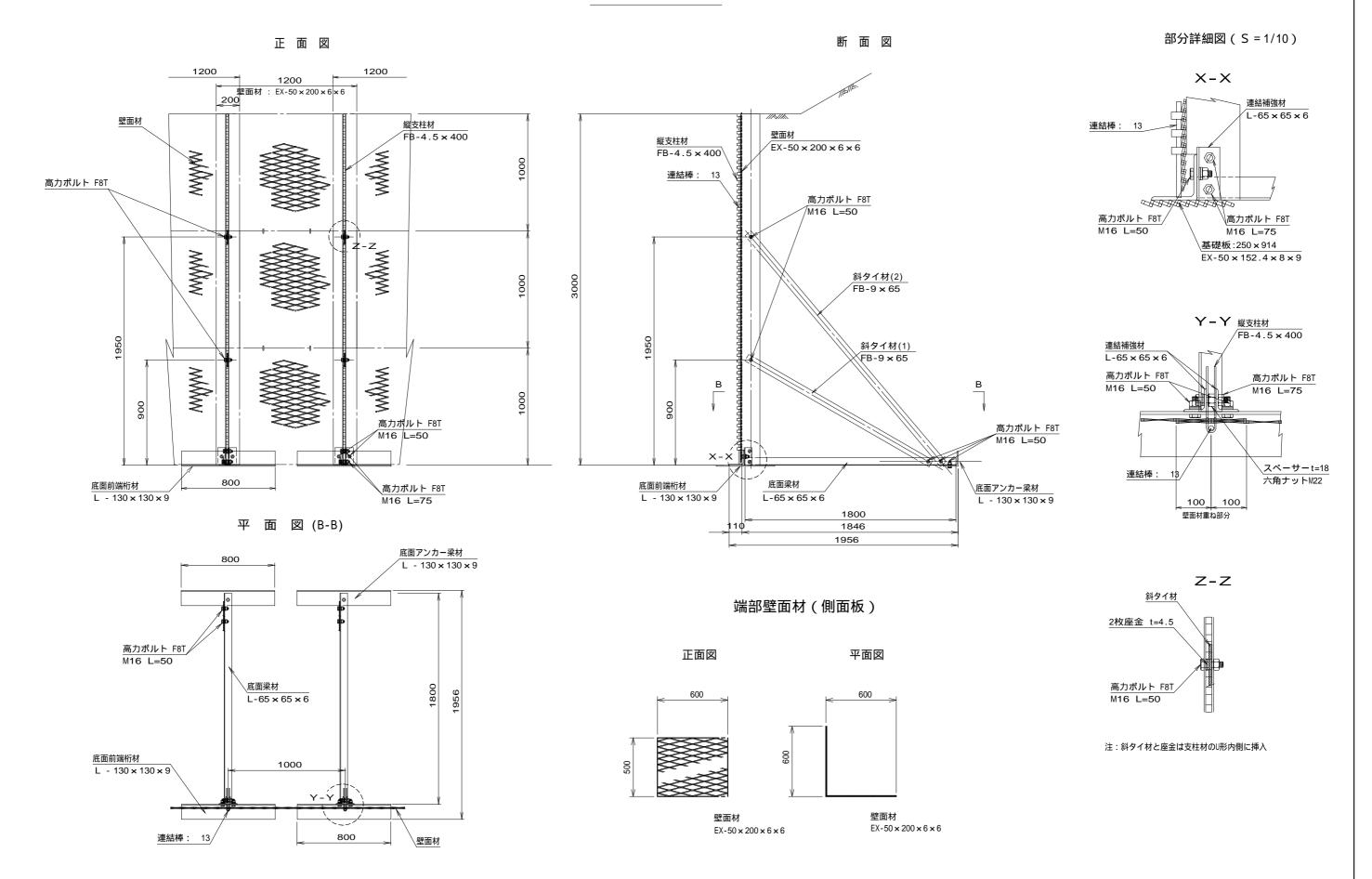


注:斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

M16 L=50

鋼製 L 型擁壁構造詳細図 A3(s=1/30)

- H = 3.0m -



LXウォール 構造詳細図 A3(s=1/30) 部分詳細図(S=1/10) - H = 3.5m -正面図 X-X断面図 1200 200 空面材: EX-50×200×6×6 連結補強材 **-**1₂₀₀ 壁面材 L-65×65×6 連結棒: 13 1 縦支柱材 壁面材 縦支柱材 $\text{EX-50} \times 200 \times 6 \times 6$ FB-4.5 x 350 FB-4.5 x 350 アンカー梁材 \bigcirc L - 130 × 130 × 9 × 450 タイ材(3) D16 THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH 高力ポルト F8T M16 L=75 高力ポルト F8T M16 L=50 基礎板:250×914 連結棒: 13 EX-50 x 152.4 x 8 x 9 背面アンカー梁材 Y-Y L - 130 x 130 x 9 x 450 連結補強材 高力ポルト F8T スペーサーt=18 アンカー梁材 L-65 × 65 × 6 高力ポルト F8T 高力ポルト F8T M16 L=50 六角ナットM22 L - 130 × 130 × 9 × 450 タイ材(2) D16 M16 L=50 高力ポルト F8T M16 L=75 2765 継手 PL-150×6×128 高力ポルト F8T M16 L=75 高力ポルト F8T タイ材(1) FB-9×65 M16 L=50 100 100 底面梁材 壁面材重ね部分 連結棒: 13 高力ボルト F8T L-65×65×6 M16 L=50 高力ポルト F8T 高力ボルト F8T M16 L=50 斜タイ材 **Z-Z** M16 L=75 2枚座金 t=4.5 底面前端桁材 底面アンカー梁材 高力ポルト F8T 800 L - 130 × 130 × 9 × 800 2000 L - 130 x 130 x 9 x 450 M16 L=50 底面前端桁材 L - 130 × 130 × 9 × 800 2046 高力ボルト F8T 2156 M16 L=50 平 面 図 (B-B) 注:斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入 端部側面材(側面版) 継手部分平面詳細 底面アンカー梁材 スペーサーt=18 L - 130 × 130 × 9 × 450 六角ナットM22 高力ポルト F8T 正面図 平面図 M16 L=75 、高力ボルト F8T PL-150 × 6 × 128 M16 L=50 600 600 底面梁材 L-65×65×6 900 連結棒: 13 EX-50 × 200 × 6 × 6 1000 壁面材 壁面材 壁面材 EX-50 x 200 x 6 x 6 EX-50 x 200 x 6 x 6 連結棒: 13 底面前端桁材 800 L - 130 x 130 x 9 x 800